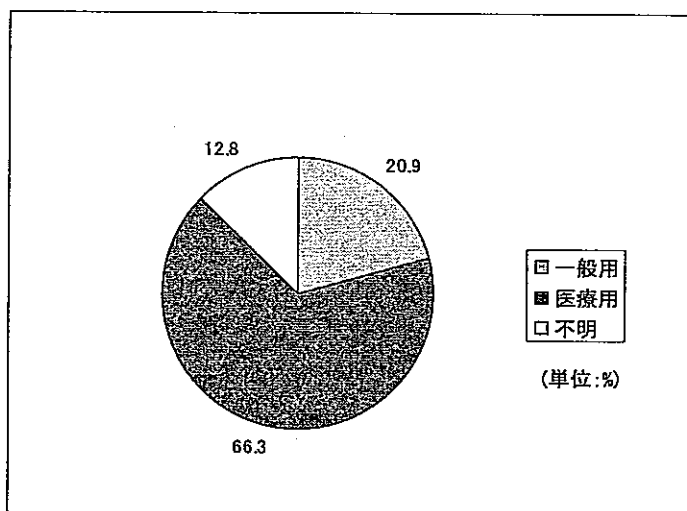


[表9] [図6] 医薬品についての相談の内訳

一般用医薬品	841
医療用医薬品	2,667
不明	515
計	4,023



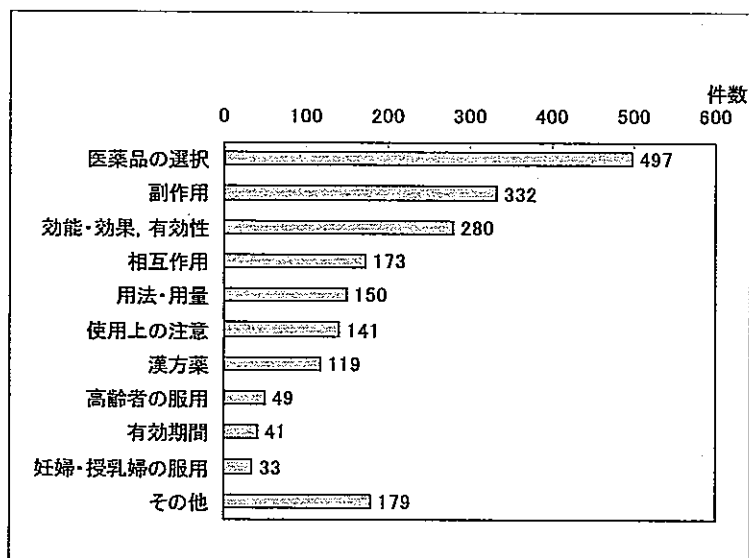
※今回の事業では、以下、「一般用医薬品」についての相談・質問のみに限って、さらに詳細を調査しました。

「一般用医薬品に関する相談・質問」を、相談内容別にみると、「医薬品の選択に関するもの」が497件（一般用医薬品についての総相談件数841件の59.1%）と最も多く、以下、「副作用に関するもの」332件（同39.5%）、「効能・効果、有効性に関するもの」280件（同33.3%）、「相互作用に関するもの」173件（20.6%）、「用法・用量に関するもの」150件（同17.8%）、「使用上の注意に関するもの」141件（16.8%）、「漢方薬に関するもの」119件（同14.1%）などが上位を占めました。（表10、図7）

薬局・薬店での相談内容に比べて、「医薬品の選択に関するもの」が少なく、「副作用に関するもの」や「相互作用に関するもの」が比較的多くなっていることが、特徴として挙げられます。

[表10] [図7] 一般用医薬品に関する相談・質問の内容別内訳（複数回答）

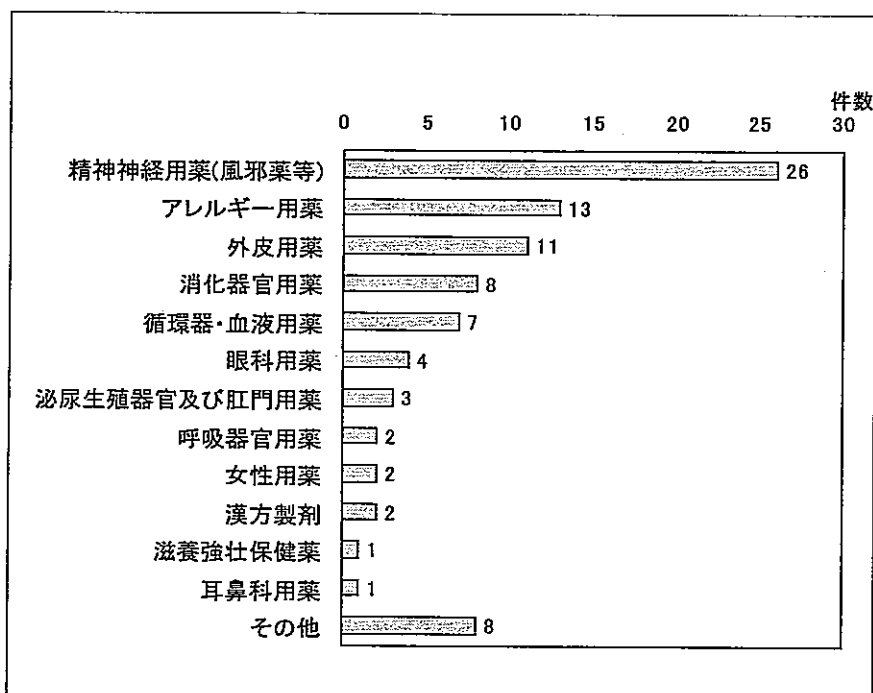
医薬品の選択	497
副作用	332
効能・効果、有効性	280
相互作用	173
用法・用量	150
使用上の注意	141
漢方薬	119
高齢者の服用	49
有効期間	41
妊婦・授乳婦の服用	33
その他	179
延べ件数 計	1,994



次に、副作用の訴えのあった一般薬を「薬効分類別」にみると、最も多かったのは精神神経用薬（風邪薬，解熱鎮痛薬等）の26件でした。以下、アレルギー用薬13件、外皮用薬11件、消化器官用薬8件などが多くなっており、これらは薬局・薬店ででの相談と同様の傾向を示しています。ただし、これらの件数は副作用の発生頻度を表すものではありません。（表11，図8）

【表11】【図8】副作用の訴えのあった一般薬の「薬効分類別」件数

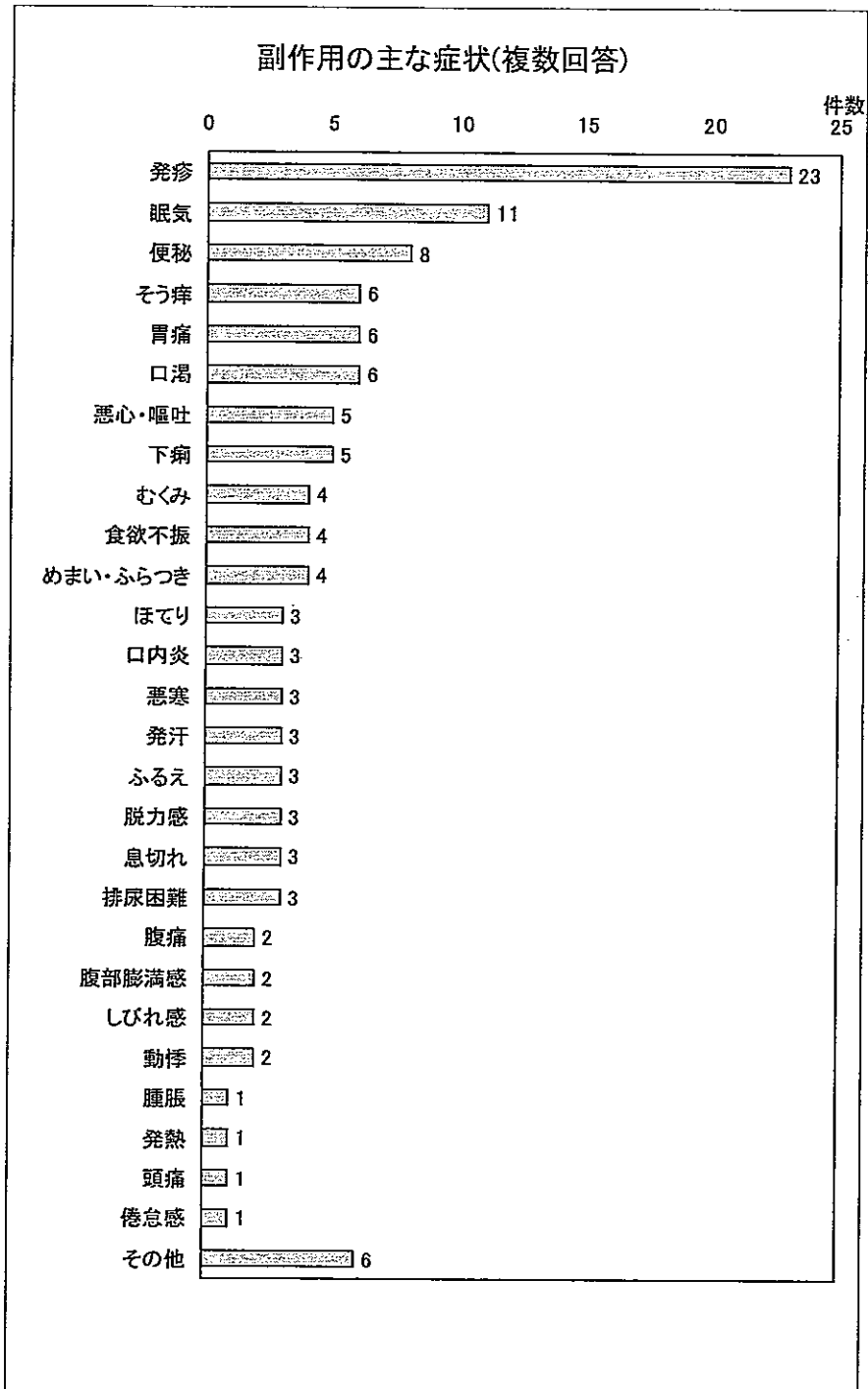
精神神経用薬(風邪薬, 解熱鎮痛薬等)	26	泌尿生殖器官及び肛門用薬	3
アレルギー用薬	13	呼吸器官用薬	2
外皮用薬	11	女性用薬	2
消化器官用薬	8	漢方製剤	2
循環器・血液用薬	7	滋養強壮保健薬	1
眼科用薬	4	耳鼻科用薬	1
その他	8	延べ件数 計	88



一方、相談者から訴えのあった「副作用の主な症状」（複数回答）をみると、「発疹」が23件（延べ件数、以下同じ）と最も多く、以下「眠気」11件、「便秘」8件などが多くなっています。（表12，図9）

【表12】【図9】副作用の主な症状(複数回答)

発疹	23	食欲不振	4	排尿困難	3
眠気	11	めまい・ふらつき	4	腹痛	2
便秘	8	ほてり	3	腹部膨満感	2
そう痒	6	口内炎	3	しびれ感	2
胃痛	6	悪寒	3	動悸	2
口渇	6	発汗	3	腫脹	1
悪心・嘔吐	5	ふるえ	3	発熱	1
下痢	5	脱力感	3	頭痛	1
むくみ	4	息切れ	3	倦怠感	1
その他	6	延べ件数 計	124		



なお、上記の「副作用の訴えのあった一般薬の『薬効分類別』件数」と「副作用の主な症状の件数」の相関については、件数が少ないため詳細な考察できませんが、概ね薬局・薬店での相談と同様の傾向が見られました。

まとめ

今回の全国統一事業では、薬局・薬店の薬剤師が、一般用医薬品の提供に際して必要な情報提供や服薬指導を行った上で、患者からの質問や相談に答えている実態を数字として明らかにできたと考えます。

また、患者からの一般薬による副作用の訴えに対して、薬剤師がその症状等により、使用の中止を指示したり、医療機関を紹介するなどの対応をとっていることも、明確にすることができたものと思われます。

本会では、今後とも一般薬販売時の情報提供や相談業務のより一層の充実に向けて、必要な施策を推進していく所存です。

平成15年度「薬と健康の週間」中の任意の1日に薬局で受けた
H2ブロッカーに関する質問・相談

《医薬品の選択について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
40～50	男性	胃が痛い。ガスター(10)のように胃酸を抑えるものがよいか、消化酵素が入っているものや胃粘膜保護剤のようなもののどちらがよいか。	症状を詳しく聞き、ガスター(10)を販売。
40～50	男性	胃が痛い。背中も痛い。空腹時は特に痛い。H2ブロッカーと鎮痙剤がほしい。	H2ブロッカーを販売せず、消化器科の受診を奨めた。
20～30	男性	胃が痛いと訴え。	ストレスのたまる職業(運転手)である旨を確認し、センロック錠・末、ガスター(10)錠・末について説明の上、いずれかをお奨めしたところ、ガスター(10)末は、以前にも服用歴があるとのことで購入された。他剤の服用はない事も確認。
40～50	女性	胃が痛む。むかつきあり。ガスター(10)でよいか。	
20～30	男性	胃が痛むと来局。話を聞くと胃潰瘍の可能性もあり。	病院にかかるよう奨めたが、仕事の関係で今日は病院に行けないため、ガスター(10)6錠を購入。注意事項を説明し、医療機関にかかるよう再度話す。
40～50	男性	胃潰瘍の手術をしたことがある。この頃胃が痛む。ガスター(10)がほしい。	今日は、一応飲んで痛みを抑えても、必ずまた医療機関で検査を受けるように奨める。
40～50	男性	胃潰瘍歴がある。最近では胃痛とか胸やけはないのだが、食欲がなく胃がもたれる。何か適した胃腸薬はないか。ガスター(10)でよいか。	
20～30	男性	胃が重い感じがして調子が悪い。胸やけもする。何か胃薬を飲みたいが、何がいいだろう。飲酒がすぎたかもしれない。H2ブロッカーでよいか。	
60～70	女性	胃が調子悪く、胸やけの症状もある。どの医薬品がよいか。H2ブロッカーがよいか。	症状と胃の調子が悪くなった時期等を聞き、ガスター(10)よりも制酸剤を奨める。
40～50	男性	胃症状。空腹時特に痛みあり。胃潰瘍過去に経験あり。どの胃薬がよいか。H2ブロッカーがよい	早めの病院への受診を奨める。
40～50	男性	以前、胃潰瘍で通院したことがあるが、また同じ症状になったので、市販の薬を飲もうと思うのだが、どれがよいか。H2ブロッカーがよいか。	
40～50	男性	胃痛・胸やけ・もたれ・むかつきの症状があるので、これに適した薬がほしい。	ガスター(10)6錠を販売。1回1錠服用して、1日2回服用を指示。
60～70	女性	胃痛・胸やけが最近続くようになった。数年前に、消化性潰瘍を患ったことがある。手持ちのガスター(10)を飲むべきか。どうしたらよいか。	話を聞くと、症状からして胃酸過多による胃炎・ストレス性潰瘍を起こしている可能性もあるので、消化器内科へ行き胃カメラを撮り診断してもらうよう促す。それまでは、手持ちのガスターを服用するように話す。
40～50	男性	胃痛だが、何かよい薬はないか。	話の内容から胃が荒れているおそれあり。H2ブロッカーと胃粘膜保護剤を奨め、特にH2ブロッカーの服用方法について守るよう指導。4日程して改善なければ、胃腸科を受診するよう指導。
40～50	男性	胃痛を訴える。	話の内容から胃が荒れている恐れあり。ガスター(10)とセルベールを奨める。特にガスター(10)の服用方法について説明し、用法・用量を守るよう指導。4日程して改善がなければ、胃腸科を受診するよう説明。
40～50	女性	胃の痛みが取れない。ガスター(10)はどうか。	他剤服用がないことを確認し、販売。痛みが続くようなら、必ず医療機関を受診し、検査を受けるよう奨める。
40～50	不明	胃の具合が悪い。痛みもある。以前、十二指腸を患ったこともある。H2ブロッカーを服用してよいか。	ガスター(10)を購入。その後、症状は良好の様子。

《医薬品の選択について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
不明	女性	今までガスター(10)を購入していたが、値段も高いし、改善も今ひとつだった。食べ過ぎに飲む薬で、他に適当な胃薬はないか。	
40~50	女性	医療機関からタケプロンをもらっていたが、終わったら薬局の市販薬で胃薬を買いたい。ガスター(10)でよいか。	
40~50	女性	医療機関でガスターを以前もらっていたが、最近また胃が痛いことがある。市販薬のガスター(10)を飲めばいいのか。	以前に医療機関を受診した時は、胃炎だったとのことなので、今日はガスター(10)を購入し、数日飲んで様子を見ることにした。
40~50	男性	医療用医薬品のガスターを服用中。医療機関が休みのため、市販薬のガスター(10)を購入したい。	継続して服用するための一時的な繋ぎとして市販薬を販売。
40~50	女性	過去に医師からガスター(20)を処方され服用していたが、また最近症状がある。市販薬のキャベジン服用したところ、効いた。キャベジンとガスター(10)のどちらを服用した方がよいか。	キャベジンを販売するとともに、H2ブロッカーについても説明し、症状が続くようなら、医療機関を受診するよう指導。
40~50	男性	ガスター(10)とアパロンZの違いは。使用方法・服用回数・内容成分の違いを教えてください。	
40~50	男性	ガスター(10)を指名で購入希望。知人に奨められたとのこと。老人介護のストレスが胃が痛む。	症状等を詳しく聞いた上で、ガスター(10)を販売。数回服用してみて、症状が改善しないまたは胃痛が続くようなら、医療機関を受診するよう奨める。近医を3軒紹介。
20~30	女性	ガスター(10)を丸一日服用したが、全然痛みが取れない。むしろ、ひどくなった。医者に診てもらいたいが、入院中の子供さんの看病でその暇がない。他によい薬はないか。	痛みは胃酸過多によるものではないかと推測。あと考えられるのは、軽い胃けいれん。ロートエキスの入った胃薬を奨め購入。夕方、楽になりましたとお礼を言ってこられる。
60~70	女性	患者本人。ガスター(10)を選ぶ。	詳しく話を聞いてみると、いつもはキャベジンを飲んでいて、よく効くとのこと。ガスター(10)ではなく、新中外胃腸薬をお奨めし、購入。
40~50	男性	空腹時に胃がムカムカし、少し痛いような感じがする。H2ブロッカーを服用するとよくなるが、飲むのを止めた時、より胃酸が出るような気がする。	症状を詳しく聞き、H2ブロッカーではなく、中外胃腸薬を販売。また、胃のレントゲンを撮るよう医療機関の受診を奨める。
40~50	男性	空腹時に胃痛あり。医者に行く時間がないので何か薬を下さい。H2ブロッカーがいいですか。	
20~30	男性	空腹時に胃痛がある。	症状をよく聞き、ガスター(10)を奨め、数日間服用しても症状が改善しなければ、医療機関を受診するよう説明。
40~50	男性	空腹時に胸やけがして、胃に鈍痛あり。	よく症状を聞いた上で、H2ブロッカーを販売。本剤を服用しても痛みが出たり、症状が改善しないようなら、医療機関を受診するよう説明する。
60~70	女性	最近、胃の調子が悪く、むかつくので大正漢方胃腸薬を服用したが、あまりよくなりません。ガスター(10)でよいか。	症状を聞き、医療機関への受診を奨める。患者は医療機関を受診。ガスターDが処方され、少し回復。検査を受けたら、ポリープあり。
40~50	女性	センロック顆粒(24包)8日分を販売したが、4~5日すると来局。	一人で飲んでいるのかを確かめたところ、1日5回も胃が痛む度に飲むとのこと。神経性胃炎であるという。来局者は極端にやせており、少女時代から体重は変わらず、胃潰瘍と思うとのこと。ガスター(10)を販売せずに、医療機関への受診を強く奨める。
60~70	男性	調子が悪い時はいつもガスター(10)を飲んでいる。それに代わるものはないか。	
60~70	不明	前に胃潰瘍でH2ブロッカーを処方されていたことがある。最近また胃が痛くなってきたので、よい薬はないか。やはりガスター(10)がよいか。	

《医薬品の選択について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
40～50	男性	胸やけがする。H2ブロッカーを購入したい。販売に関してのチェックをして下さい。	
60～70	女性	胸やけがひどく、奥田胃腸薬を飲んだが、効かなかった。ガスター(10)はどうだろうか。	よく話を聞いて、消化剤を奨めた。
60～70	女性	胸やけの相談。総合胃腸薬を飲んだが、効果なしとのこと。	症状をよく聞き、ガスター(10)を推奨。屯服での服用を指導。
40～50	男性	もともと胃酸の分泌が多いせいか、胸元がカーッと熱くなって胸がやける。何を服用すればよいか。H2ブロッカーがよいか。	逆流性食道炎を起こしているのかもしれないので、医師の診察を受けるよう奨める。今日は、とりあえず胃酸を中和して粘膜を保護する薬を販売する。
40～50	男性	胃酸が逆流するような感じがする。ガスター(10)錠を服用すると良くなり、3日間くらいは安定している。医療機関で検査するが、胃カメラも異常なし。ピロリ菌もなく、薬は服用していない。痛むのは、空腹時・食後もある。痛む場所は、特定の所ではない。便通は正常で色も黒くない。	ガスター(10)錠6錠を購入する。朝1錠・夜1錠を正しく服用して3日間様子をみるように説明。その間に何か変化(例えば食欲不振・悪心・嘔吐)等があれば、もう一度医院で診察を受けるよう奨める。2週間以上は続けて服用しないよう指導する。